発行所
真宗大谷派宗務所
代表者　木越 渉
編集／東本願寺出版（真宗大谷派宗務所出版部）
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189（東本願寺出版）

購読料　無料
送　料　1部1カ年1,300円
（1,182円+税10%）※部数により変動
振替口座番号　01000-6-27404
加入者名　東本願寺出版部

東本願寺公式YouTubeにて春の法要のライブ配信などを公開しています。

東本願寺　YouTube　検索

どうぼうしんぶん
同朋新聞
Dōbō Shimbun

4
Vol. 797
April 2024

今月の写真

蓮如上人の北陸教化と真宗再興のご遺徳を偲び、福井県の吉崎別院では毎年「御影道中」は、御忌法要をお迎えするため、真宗本廟（東本願寺）と吉崎別院の間を蓮如上人にお供して歩く大切な仏事で、江戸時代から続けられています。

蓮如上人御影道中

今月の法話　如是我聞

生きる

東京教区 横浜組 西教寺
鶴見 美智子（82）

私は、82歳。動植物ではなく、「人間の」いのちで、この年までよく生きさせて貰ったと思うことです。「こども」から「おとな」、そして「としより」と、表面的には、大きな変化が見られますが、内面の「自己愛」という本性は変わりません。

「正信偈」の中に、「弥陀仏本願念仏　邪見憍慢悪衆生　信楽受持甚以難　難中之難無過斯」（『真宗大谷派勤行集』十三頁）と、自己愛から離れて、信心をいただくことの難しさが表現されています。なぜ難しいのかといえば、よこしまな考えや、おごり、高ぶりを立場としたり、念仏しながらも、念仏を自己愛の手段とするから、ということです。私のことだと笑いそうになって、ここまでの文を読み返した時、あらためて「悪衆生」の3文字が目に飛び込んできました。

「悪衆生！　えっ、私って悪衆生なの？」。

驚きと「？」まで付くのですから、私の心の中では否定していたのでしょう。また、その前に「私のことだと笑いそうになった」とも書いていますが、笑っている場合ではないのでした。

「理屈では知っているが、自分のこととは思ってもいない」それが「悪衆生」だったのです。

そんな私に向けられて「ナムアミダブツ」があると聞きました。

CONTENTS

2・3面　人間といういのちの相
吃音は「だめ人間」じゃない
梅津 円さん

4面　通信員リレーリポート
現在を生きる　第246回
縁―お寺の掲示板―　第9回

5面
ひかりを伝えたひと
―七高僧と聖徳太子　第4回

6面　宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃記念事業
真宗聖典　第二版 発刊

令和6年能登半島地震で被害に遭われました被災者の方々に対し、衷心よりお見舞い申し上げます

この紙面では、さまざまな人をとおして、現代社会の抱える課題や人間そのものについて考え、宗祖御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」、慶讃テーマ　「南無阿弥陀仏　人と生まれたことの意味をたずねていこう」の学びを深めていきたいと思います。

人間といういのちの相　すがた　連載

吃音（きつおん）は「だめ人間」じゃない

話すときに滑らかに言葉が出ない障害の一つ「吃音」。吃音は幼児期に発症することが多いが、そのうちの7～8割は自然に治り、大人になっても残るのはごくわずかと言われています。しかし、日本だけでなく世界でも成人の100人に一人が吃音の悩みを抱えています。自らも吃音を持ち、その経験を基に吃音者のためのVR（仮想空間）での対話練習ソフトを開発した梅津円（うめつまとか）さんのお話から人間の相（すがた）を考えます。

インタビュー
梅津円（うめつまとか）さん

株式会社DomoLens代表取締役CEO。小学生の頃に吃音を発症。人との関わりに悩み、社交不安障害も併発したが、インターンシップなどの経験を経て、同じ悩みを抱える人の役に立ちたいと2017年からVRで対話の練習ができるソフトを制作している。

吃音の苦しみとはどのようなものか

――吃音とはどういう症状なのでしょうか。

吃音とは、話すときに言葉の発音が上手にできない、言葉が出てこない障害で、主に3つ症状があります。多くの方は、吃音というと「どもり」のイメージがあるかと思いますが、これは「連発」と言われる症状です。また、「難発」という症状があります。これは、喉に何かが詰まっていて蓋がされているみたいに、どう頑張っても声が出てこない感覚になる症状です。そのため一見わかりづらいですが、これも吃音の症状です。そして3つ目は、「伸発」といって、「アイス」を「アーイス」のように言葉の最初の音を伸ばして話す症状があります。この「連発」、「難発」、「伸発」という3つが主な吃音の症状です。

脳や遺伝子の分野では、吃音の研究が進んでいて、遺伝の可能性も知られていますが、正確な吃音のメカニズムがわかっておらず、原因不明の言語障害と言われています。

――梅津さん自身も吃音であることで、いろいろと苦しまれたそうですが、どういったことで苦しまれましたか。

一番は理解されないというところですね。吃音でない人でも緊張してどもってしまうこともありますし、ちょっと緊張しただけでしょうと思われてしまい、軽く見られがちです。人に相談しても自分の悩みを重く受けとめてもらえず、話をきちんと聞いてもらえませんでした。吃音でない人がちょっとどもるのとレベルがまったく違うのですが、それと同じだと思われるのが嫌でした。

また、私は自分が存在する意味がわからなくなりました。吃音の症状をばかにされたり、茶化されたりするのが怖く、なかなか友達の会話の中に入れなくなり、自分がどんどん透明人間になっていくように感じていました。

あと、とても悩んだのはいじめでした。小学4年生頃から中学3年生頃まで、話し方をからかわれたり、否定されたりして、普通の人が普通にできることができない自分は欠陥品なんじゃないかと思うきない悩みました。どもっていることを「気持ち悪い」などと言われて、自分が存在していることが人に迷惑をかけているのではないかとも感じました。

――梅津さんは、吃音に加えて社交不安障害も抱えておられたそうですね。

はい。社交不安障害は、吃音がある成人の40％以上の割合で併発しているといわれています。これは、会話が必要な場面における不安や恐怖を強く感じてしまい、生きることがつらくなり、生活に支障をきたしてしまう障害です。

私の場合はいじめがきっかけだったのか、人の笑い声を聞いたり、目を見たりするだけで自分は否定されているのではないか、ばかにされているのではないかと思ってしまい、涙が出てきました。街中で前を向いて歩くことができず、無意識に下を向いて歩き、すべての目が自分に対して「この世から消えろ」と言っているのではないかと考えていました。関係を持つ前に、否定や排除をされたり、傷つく言葉を言われたりするのではないかという恐怖から、人と接することを回避していました。

自分は、もともととても明るい性格でした。しかし、いじめられるようになってから、まったく別の人間に変わってしまって、何も話さなくなってしまいました。話すたびに否定されてしまうのが本当につらく、毎回心臓にナイフを刺されるような感覚でした。自分が吃音だと知らなかったので、誰にも相談できず、どうしたらいいかもわかりません。みんなは普通にできていることだから、全部自分の性格の問題なのだと処理して、「だめ人間」だと毎日思い続けていました。普通に話すことができないから、将来就職もできないのではないかとか、先行きにも不安を感じていました。

治療のために大切なこと

――吃音は、当事者以外からは障害があると認識しにくいものだと思いますが、周りはどのように受けとめればよいのでしょうか。

そうですね。特定の場面でしか吃音が出ない人も多いので「すべての場面でどもるわけではない」ということを知ってほしいです。吃音に詳しくない病院や、相談とができるようにし、また難易度別に作成しています。

実際、VRを継続して使ってくれた方の中には、1週間で効果が出る人や、逆に効果が出にくい人がいて、何かしらの特徴があると感じています。どういった特徴や特性が効果に表れやすいのか、これからもっと研究していきたいと思っています。

――吃音は治療によって治るものなのでしょうか。

吃音に関しては治るという定義は非常に難しく、吃音の症状をゼロにする方法はまだこの世には存在しません。ただ、治るという定義を、症状は出るけれど、自分がしたいことは何でもできる、吃音を障害と感じないレベルにすることはできると思います。

また、自分が納得する話し方を確立することも大切です。言語訓練に効果があることはわかっていますが、既存の言語訓練の課題として、変な話し方が確立されるということがあって、どもりはしないけど満足度が低い話し方になってしまいます。満足した話し方でないので、どもらなくても、本人の不安は消えません。なので、自分が納得する話し方を見つけて、自分のペースで話すということが大事かなと思います。

それぞれの個性を認める社会へ

普通じゃないと社会から排除される、普通じゃないと幸せになれない、普通じゃなきゃだめだという空気を小学生の頃は感じ、みんなが普通にできることができない自分は「だめ人間」だと考えていて、普通という言葉がすごく嫌いでした。学校教育で平均点を取ることを優先しがちだなと思うのですが、それがとても苦しかったです。普通じゃなくても、社会で生きていけるとか、幸せになれるといったロールモデルとなる人を、私自身、小学生の頃に教えてほしかったなと思います。

――周りの環境が醸成されていれば、ずいぶん違ったわけですよね。

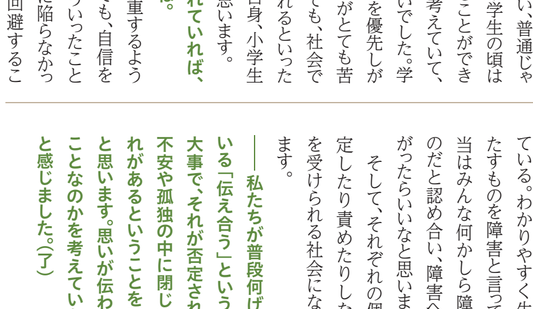
やはり人と人の違いを尊重するような教育というか、人と違っても、自信を失わない教育というか、そういったことを学んでいたら、自己否定に陥らなかったでしょうし、話すことを回避することも少なかったかなと思います。平均点をつける教育よりも、得意なことを伸ばしていくことが大事だということが学べたらよかったなと思いますね。

――ちゃんと最後まで話を聞いてもらえる、自分を嫌わなくてもいいんだと感じられる、そういった経験が必要なわけですね。社会全体が吃音という障害についてきちんと認識することも大事でしょうね。

障害という概念が変わっていったらいいなと思うんです。自分とは関係のないものと思いがちですが、視覚障害など身近にもいろいろな障害があります。いろいろな人がいろいろな障害を持っているのに、どこか自分は違うと考えがちだと思うので、意識が変わって、障害の垣根がなくなっていったらいいなと思います。誰でも小さな障害をもっている。わかりやすく生活に支障をきたすものを障害と言っているだけで、本当はみんな何かしら障害を持っているのだと認め合い、障害へのハードルが下がったらいいなと思います。

そして、それぞれの個性や違いを否定したり責めたりしないような教育を受けられる社会になるとよいと思います。

――私たちが普段何げなくおこなっている「伝え合う」という行為は、非常に大事で、それが否定されると、その人を不安や孤独の中に閉じ込めてしまう恐れがあるということを認識せずにいたと思います。思いが伝わるとはどういうことなのかを考えていかねばならないと感じました。（了）



通信員リレーリポート

現在を生きる

第246回

日本全国のご門徒の方々や各地で開かれている同朋の会を紹介します。

畑中 正郎さん・道子さん

つながりをつくる場所

岐阜高山教区 高山2組 玄興寺門徒
畑中 正郎さん（79歳）
道子さん（75歳）

岐阜県高山市にある高山別院でよくお会いする方がいる。熱心に参拝され、別院やお手次寺などのイベントの裏方としても活躍する畑中さんご夫妻だ。

周囲の人たちへも帰敬式を勧められるほどのお二人に、お寺と関わるようになったきっかけをたずねたところ、きっかけというきっかけはなかったそう。「私の家庭は、とにかく生活の中心に仏様やお内仏がありました。何かいただきものをしても、学校から通知表をもらってきても、まずはお内仏の仏様に報告していました」と道子さんは育った家庭環境を振り返られる。

試行錯誤の思い出がつまった記念誌

また、「私の母は認知症を患った後も、お内仏の前に座ると手を合わせ、「正信偈」をすらすらとお勤めするような人でしたし、父は〝生まれるも死ぬも寺〟という思いから、私たちに結婚式をお手次寺の玄興寺で執り行うことを勧めてくれました」とご両親についても語られる。

結婚後も、お寺の婦人会などをとおして常にお寺との関わりを持ち続けてきた道子さん。47歳の時本山に上山し、帰敬式を受式した際、厳かな雰囲気にとても感動し、正郎さんにも帰敬式を勧めた。退職を機に正郎さんも帰敬式を受式し、以降お二人でお寺のさまざまな行事や活動に携わっている。

中でも思い出深いのが、玄興寺で厳修された親鸞聖人七百五十回御遠忌法要並びに本堂修繕落慶法要とのこと。正郎さんは総務局長として、道子さんは接待係や広報部の一員として奔走した。意識したのは、たくさんの役割を作ること。そうすると自然とたくさんの人に関わってもらうことができる。これは、これまでのお寺との関わりの中で抱いてきた思いに拠るのだという。

「聴聞のためお寺に通ったり、奉仕団として幾度も上山した経験の中で、職種や住む場所の違う、普段の生活では出会うことのない人たちと出会い、つながりを持つことができたことが自分たちの喜びとなっています。お寺というのはそういった、つながりをつくる場所なのだと思います」とお二人は語る。

代々受け継がれてきた仏様を大切にする精神が、ご夫婦の周囲にしみじみと伝わっている様子を感じた。

岐阜高山教区通信員
渡邊 陽子

縁 お寺の掲示板

第9回

お寺の掲示板に込められたさまざまな願いを、今月の言葉と一緒に毎月お届けします。

あげて生きてますか　いただいて生きてますか

私はどう生きているのか。他者に何かを「してあげる」と上からの物言いで生きているのか、それとも「えらばず きらわず みすてず」で「させていただく」と生きているのか。そんな問いに立った時、この身も心もこの世界でさえも、縁によっていただいてきたことに気づかされた。掲示板に目が留まった皆さんにも、私が感じた問いに向き合っていただければと思い、この言葉を掲げました。

玉泉寺（長浜教区 第20組）
滋賀県長浜市新居町304
住職 野寺 真永

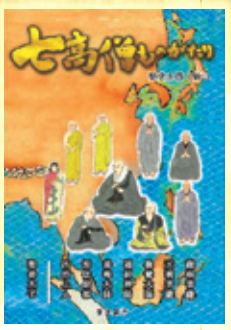
25歳で住職を継承してから14年間、玉泉寺の掲示板には、その時々の自身の課題やテーマなどを、法語として掲示していると語る住職の野寺真永さん。その言葉を自分事として考えていただけるよう工夫されている。

その工夫の一つとして、法事の際に配る式次第の裏面に、掲示板の法語を載せ、法話でその意味を伝えられているとのこと。「法事の後、ご自宅の壁に貼ってもらうことで、お寺まで足を運んでいただかなくても家族で見てもらえますし、それが法事のたびに蓄積していくことで、さまざまな教えに触れていただく機会にもなります。私自身、仏教に出遇い人生の固定観念がひっくり返りました。法語に触れていただく皆さんにとっても、「自分の人生はこうだ」という固定観念を見直すきっかけになればと思っています」。

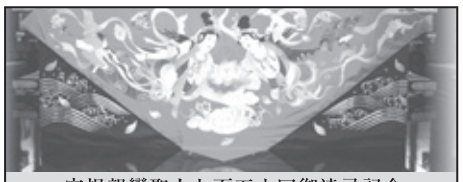
お寺の果たす大きな役割である伝道について、法語を多くの方と共有したいという思いから、さまざまなアイデアを実行されている姿にあらためて学び直させていただいた。

長浜教区通信員
野村 顕俊

映像で七祖を紹介 DVD



七高僧ものがたり
七高僧と聖徳太子はどのような人で、どのような光に出遇ったのでしょうか？
彼らも私たちと同じように悩み苦しむ人でしたが、仏さまの教えに出遇われ、その教えを身に受け広めていった方々でした。このDVDでは、彼らの持つ12のエピソードを通じて、親鸞聖人まで伝わった光を訪ねます。
定価：2,750円（税込）
収録時間約140分
ご注文は 東本願寺出版 HIGASHI-HONGANJI PUBLISHING TEL 075-371-9189



宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念
紅地天人之図総手刺繍御打敷謹納
〒600-8159 京都市下京区烏丸通東本願寺前
TEL フリーダイヤル 0120-07-6391
FAX フリーダイヤル 0120-34-2816
https://shibata-houiten.com/
（Webカタログ掲載・商品動画配信中）
@SHIBATAHOUITEN
真宗大谷派 東本願寺御用達 京法衣事業協同組合加盟店
株式会社 柴田法衣店

オープンキャンパス
5/19（日） Realな大学生活にふれよう！
6/16（日）
開催時間 10:00-15:30
ご家族での参加も大歓迎です
詳細・申込みはこちらから

お問い合わせ：入学センター
〒603-8143 京都市北区小山上総町
TEL：075-411-8114（直通）
Be Real 寄りそう知性 大谷大学

真宗本廟奉仕に参加しましょう —言葉では説明できない“場の力”がここにある—

ひかりを伝えたひと
―七高僧と聖徳太子
第4回

親鸞聖人がお念仏の教えを自分のところまで届けてくださった師として、生涯大切に仰がれた方々がいます。「七高僧」と呼ばれるインドの龍樹・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の源信・源空（法然）。そして「和国の教主」と仰がれた聖徳太子です。親鸞聖人は彼らからどんな「ひかり」を受け取られたのでしょう。龍樹について、3回にわたってたずねています。

龍樹菩薩 三

本師龍樹菩薩は
大乗無上の法をとき
歓喜地を証してぞ
ひとえに念仏
すすめける

（『高僧和讃』『真宗聖典 第二版』五八九頁）

【現代語訳】
根本の師である龍樹菩薩は、大いなる教えの無上の法を説き歓喜地の境地をさとった姿をみずから示すことで、ひたすら念仏を人びとにおすすめになったのだ。

よろこびの姿

龍樹菩薩は歓喜地という境地に到達した人物としても有名です。「歓喜地」とは、菩薩の修行階梯の一つで、「初地」、「初歓喜地」ともよばれます。この境地ではよろこびが自然と生じてくるとされています。

よろこびにはとても大きなはたらきがあります。よろこんでいる様子を見ると、本人だけではなく、こちらも嬉しくなるものです。

仏教でも、よろこびのはたらきは大切にされてきました。おだやかでにこやかな表情を見せることは、周囲に対する布施（和顔悦色施）でもあります。法要に参列することを「随喜する」と表現する伝統が仏教にはあります。これは、「一緒によろこぶ」という意味です。

表現されたよろこびは、他者にも共有されるのです。

条件つきのよろこび

日常生活での私たちのよろこびは、とても脆いものを根拠にしています。それは、外的な条件が必ずついてくるからです。その条件が満たされてはじめてよろこべるのです。逆に、条件が私の都合と合わなくなると、すぐによろこべなくなってしまいます。

また条件は私の外側にあるものですから、私の都合とは関係なく変化し、私の都合も目まぐるしく変化します。ですから、外的条件が変化しても、私の都合が変化しても、外的な条件が私の都合と合わなくなってしまいます。そうすると、よろこびを感じられないどころか、むしろ腹を立てかねません。

念仏の伝統

その一方で、歓喜地のよろこびは、自らの内部から自然と溢れ出してくるものだとされます。阿弥陀仏は、そのひかりによって人びとに歓喜を生じさせます。阿弥陀仏が「歓喜光仏」（『仏説無量寿経』巻上『真宗聖典 第二版』三二頁）とも呼ばれるのは、そのためです。龍樹菩薩が歓喜地にいたったということは、阿弥陀仏のひかりという確かなものに触れたからに他なりません。

龍樹菩薩が歓喜地にいたったということは、現在の私たちにまで伝えられてきています。龍樹菩薩のよろこびが人びとに共有されてきたということです。それは、龍樹菩薩のよろこびの根源となった阿弥陀仏のひかりが真実であることを証明しています。親鸞聖人もまた、龍樹菩薩の姿をとおして、念仏が真実のひかりであることを確信しました。

龍樹菩薩以来綿々と共有されてきたよろこびは、念仏の伝統となって現在の私たちにまでつながっているのです。

采睪 晃（わけみ あきら）
大谷大学文学部
仏教学科教授
京都教区近江第25西組
長光寺住職

東本願寺いのちとこころの相談室 075-371-9280（毎週木曜13時～17時 ※祝日・行事日は閉室）

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃記念

真宗聖典〔第二版〕

聖教編纂室（しょうぎょうへんさんしつ）では、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業の記念事業として、正確で親しみやすい聖典となることを方針として編纂された『真宗聖典』（初版）を、近年の研究成果をも踏まえながら本文を確認しなおし、このたび『真宗聖典 第二版』として発刊しました。同朋の会や講義、学習等、日々の聞法のテキストとしてぜひご活用ください。

4月1日 発刊!!

聖教編纂室 編

■大判／A5判・1,424頁・ケース付き
価格4,950円（税込）

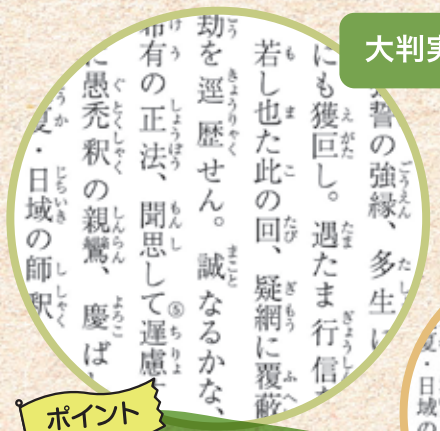
■小判／B6変形判・1,424頁・ケース付き
価格4,400円（税込）

〈『真宗聖典 第二版』目次一覧〉

仏説無量寿経（大経）／仏説観無量寿経（観経）／仏説阿弥陀経（小経）／無量寿経優婆提舎願生偈（浄土論・往生論）／帰三宝偈（勧衆偈・十四行偈）／顕浄土真実教行証文類（教行信証）／浄土文類聚鈔／愚禿鈔／入出二門偈頌文／浄土三経往生文類／如来二種回向文／浄土和讃／高僧和讃／正像末和讃／尊号真像銘文／一念多念文意／唯信鈔文意／親鸞聖人御消息集（広本）／御消息集（善性本）／親鸞聖人血脈文集／末燈鈔／御消息拾遺／恵信尼消息／歎異抄／執持鈔／口伝鈔／改邪鈔／浄土真要鈔／本願寺聖人伝絵（御伝鈔）／報恩講私記（式文）／嘆徳文／正信偈大意／御文／夏御文／御俗姓／改悔文／蓮如上人御一代記聞書／唯信鈔／後世物語聞書／一念多念分別事／自力他力事／安心決定鈔／横川法語（念仏法語）／一枚起請文／十七条憲法　※収載聖教名のみ記載。

① 見やすく、読みやすい体裁に

文字を大きくし適宜改行を加えて
より見やすく読みやすい体裁になっています。



『真宗聖典 第二版』の主な特徴

●『教行信証』「総序」（『真宗聖典 第二版』160頁）

② 宗祖が付した左訓（さくん）を収録

宗祖が付された左訓（語句の左側に言葉や文字の意味、説明を示したもの）を本文と共に確認できるよう示しています。

③ 研究成果を踏まえた本文に

様々な研究成果を踏まえて本文を示しています。

④ 年表の充実

典拠や人物の年齢を記すなど、学習の利便性を考えより充実させています。

「真宗聖典検索サイト」の更新

『真宗聖典 第二版』の発刊に合わせ、「真宗聖典検索サイト」を第二版及び初版の聖典の文言や対応する頁数を検索できるよう改修しました。ご活用ください。

真宗聖典検索サイト　検索

『真宗聖典 第二版』のご注文は、東本願寺出版まで

「東本願寺出版ホームページ」からのご注文ならクレジット決済をご利用いただけます。

東本願寺出版 HIGASHI-HONGANJI PUBLISHING

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL：075-371-9189／FAX：075-371-9211
Mail：books@higashihonganji.or.jp

東本願寺出版　検索

真宗門徒として帰敬式（おかみそり）を受けましょう

災害救援本部から

令和6(2024)年能登半島地震 現地災害救援本部・ボランティア支援センター開所式

2月1日、能登教務所（石川県七尾市）において、「現地災害救援本部・ボランティア支援センター開所式」が行われ、木越渉宗務総長、完恵能登教区会議長、五百井正浩宗派ボランティア委員会委員長をはじめ能登教区役職者に加え近隣教区の坂本学金沢教区会議長も駆けつけ約30人が参加した。

現地災害救援本部は震災当初金沢教務所に設置していたが、水道や電話回線等の復旧に一定のめどが立ち、甚大な被害を受けた奥能登地域への災害救援活動を円滑に進めるため能登教務所へ移設した。ボランティア支援センターは、今後、被災地の復旧及び復興に向けた息の長い取り組みへとつなげるべく、宗派に関係する団体・個人が行うボランティア活動に対し、現地の情報提供や、経費の一部助成、物資や宿泊場所の提供などの支援を行っていく。

開所式では「正信偈」の唱和の後、木越宗務総長より一致団結した息の長い支援を行っていく決意が述べられた。その後、完氏からの挨拶では「時間はかかると思うが、復興に向けてお互いに手を携え、力を合わせていけたら。今日がその第一歩を踏み出していく日になればと思う」と思いを語られた。

ボランティア支援センターの詳細はこちら

木越宗務総長現地見舞い

1月31日から2月2日、木越渉宗務総長は被災地のお見舞いを行った。31日は、朝から現地入りし、輪島市門前町を訪れた。門前町の黒島地区では、数千年に一度の大きな地殻変動で最大4メートルの隆起がみられ、近隣の港に大きな打撃を与えており、隆起した港の視察を行い、町内7カ寺を訪問した。1日には土地の液状化等による被害の大きい七尾市内3カ寺を、2日には能登半島最北端の珠洲市にある4カ所の避難所と3カ寺のお見舞いを行なった。

訪問先の寺院で住職や坊守の方々と対面すると、どちらからともなく互いに合掌する姿が見られ、寺族の方から被害状況や、寺院や門徒の現状について伺った。

総長は地震後に門徒がかけつけ本堂が避難所となり、お供えなどを分け合った話や、避難先で亡くなられた門徒の遺族の方が、教務所を経由して手次寺と連絡がとれた話などに耳を傾けながら、お見舞いの言葉と宗派の災害支援の取り組み、そして息の長い支援を行うことを伝えた。また、避難所に救援物資を届け「全国の方々が能登を思っている。物・心ともに息の長い支援をしていくので要望があったら遠慮なく伝えてほしい」と話した。

宗派ではこのたびの「令和6年能登半島地震」に対する救援金を勧募しています。
皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。

救援金口座　郵便振替口座番号　00920-3-203053
加入者名　真宗大谷派　※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。

救援金総額　71,155,868円（2024年3月4日現在）

お東さん ガイド

お知らせ

学習テキスト『御同朋を生きる』発行

このたび、学習テキスト『御同朋を生きる』（編纂：是旃陀羅問題学習資料編纂委員会／無償）を発行した。本テキストは、宗門における是旃陀羅問題の取り組みの依処として作成したもの。是旃陀羅問題については、各組において僧侶と門徒がともに学ぶ場が開かれるよう、今後、組の学習会の講師を養成する研修会を予定している。是旃陀羅問題は真宗門徒としての私たち一人ひとりの信心の課題であることから、本テキストにおいて、『仏説観無量寿経』の学びの一歩を共どもに歩みだす機縁としていきたい。

ご希望の方は最寄りの教務所、解放運動推進本部までご連絡ください。

お問い合わせ　解放運動推進本部　TEL:075-371-9247

真宗大谷派宗務役員（一般職）募集！

全国のたくさんの寺院、僧侶、門徒とともに教えを聞き、全世界に真宗の教えを届けていくため、このたび、真宗大谷派宗務役員として、諸事業に従事いただける方を募集いたします。詳細は下記「職員採用特設ページ」をご覧ください。

応募資格について、ご不明な点がありましたら下記お問い合わせ先までお気軽にご相談ください。

採用時期　2025年4月1日付採用（試用期間あり）

応募資格　①高等学校卒業又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者
②真宗大谷派の僧侶又は門徒（帰敬式を受式し、所属寺が明確であること）

お問い合わせ　真宗大谷派宗務所 総務部 宗務役員募集係
TEL:075-371-9272

真宗大谷派 採用　検索

読者のお便り

故郷のお寺からの手紙

埼玉県川口市
石田 勇（87歳）

私は現在87歳。昨年の7月から埼玉の住宅型老人ホームに入居しています。妻は17年前に病死。一人住まいに耐えられずここに来ました。

昨年末に、生まれ故郷の滋賀県犬上郡多賀町中川原の西音寺より手紙が届き、同封された『同朋新聞』を読んで、今回このはがきを出しました。私の実家は西音寺と同じ村にあり、門徒でしたので、幼少期はそのお寺にあった託児所に通いました。また、中学時代にはそこで「正信偈」を教わり、家のお内仏の前でもお勤めしていました。

今回届いたお手紙には、「お盆に、石田さんの故郷のお墓の前に花が供えてありましたよ」と書いてあり、西音寺さんはそこまで見てくれているのかと感激した次第でございます。故郷は大切にしたいですね。

お便り募集　『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。
宛先　Eメール／shuppan@higashihonganji.or.jp　FAX／075-371-9211
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版「同朋新聞編集係」
◆住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただく場合があります。

京扇子司
京扇堂
●本　店●
京都市下京区東洞院通正面上る筒金町46
Tel.075-371-4151

東本願寺御用達
日下念珠店
〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下ル
電　話　(075)351-6325
フリーFAX　0120-89-5255
定休日：日曜日

どなたでも学べます 途中からの受講もOK
真宗大谷派所属の講師陣による基礎重視のオンライン講座
親鸞仏教オンライン学舎
2024年度お申込み受付中
毎週火曜19時半 Zoomで配信
年間受講料 12,000円
講師が充実。この受講料でこの豪華さは驚き！ 60代男性・東京教区
受講生のVOICE
火曜の夜はオンライン学舎！ 50代女性・三重教区
忙しい時でも見逃し配信があるので助かります 40代女性・新潟教区
オンライン学舎で法話に興味を持ち、実際に寺で聴聞するようになった 40代男性
親鸞仏教オンライン学舎 で検索！
「親鸞仏教オンライン学舎」は全国の真宗大谷派僧侶が集まり昨年4月に開校しました。詳しくはHPをご覧ください。

御本尊は本山からお受けしましょう

ご案内

真宗本廟

開門・閉門時間／3月～10月：5時50分～17時30分
11月～2月：6時20分～16時30分

晨朝（おあさじ）
【場所】阿弥陀堂及び御影堂
【時間】毎日7時～

晨朝法話
【場所】御影堂
【時間】毎日7時30分頃～

真宗本廟法話
【場所】視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間
【時間】通常　10時10分～／13時10分～
逮夜日（12・27日）13時10分～
御命日（28日）　9時30分～
※その他、時間・会場を変更する場合があります。

参拝接待所ギャラリー
【時間】9時～16時
「親鸞聖人の御生涯」（常設展）開催中
「非戦・平和展」開催中（～5月6日）

詳しくは ➡ 東本願寺 検索

しんらん交流館

真宗本廟（東本願寺）へご参拝の際には、ぜひお立ち寄りください。
開館時間／9時～17時　休館日／毎週火曜日

4月の定例法話
【日時】毎日14時～（毎月12日・27日は10時～）
※休館日、4月1～5日は休会。その他、都合により休会する場合があります。

4月の東本願寺日曜講演
【時間】9時30分～11時
【講師】4月7日　松田 亜世氏（企画調整局参事）
4月14日　牧野 豊丸氏（福井教区教学研究所所長・福井教区託願寺住職）
4月21日　貝沼 宜徳氏（名古屋教区興西寺住職）

公開講演会
【日時】4月18日（木）18時～19時30分
【講師】辻 信一さん（文化人類学者）
【聴講料】550円

詳しくは ➡ 浄土真宗ドットインフォ 検索

2024年 真宗本廟奉仕に参加してみませんか

真宗本廟奉仕を機にぜひ帰敬式を受式ください

おみがき奉仕団
7月1日（月）～3日（水）
または7月1日（月）～2日（火）

盂蘭盆会（うらぼんえ）を迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを中心とした奉仕団です。

【参加費】
〈2泊3日〉18,000円、米2kg（1升4合）または米代1,300円
〈1泊2日〉13,000円、米1.2kg（8合）または米代800円

真宗本廟中学生・高校生奉仕団
8月7日（水）～9日（金）

【講師】金石 潤導氏（北海道教区開正寺住職）
【定員】30名
【対象】中学1年生から高校3年生まで
【参加費】
中学生9,000円／高校生13,500円、米2kg（1升4合）または米代1,300円

※子ども奉仕団については『同朋新聞』3月号7面をご確認ください。
※申込締切は各入館日の40日前です。

お申し込み・お問い合わせ　同朋会館・研修部　TEL:075-371-9185

入館中はお仲間や他団体の方々とカフェ（無料）でほっこり♪

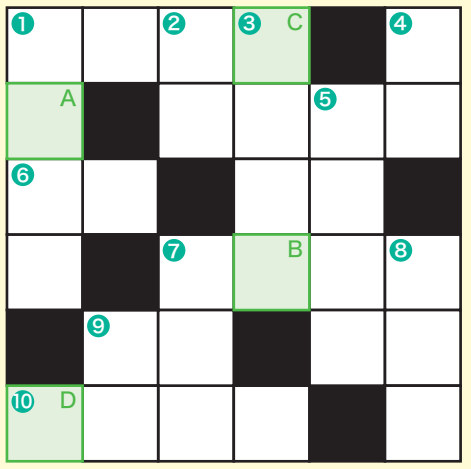
今月号の『同朋新聞』を読んで、クロスワードパズルを完成させよう！

プレゼント付

「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、クロスワードパズルを完成させましょう！ 4月号の『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!

タテのカギ
1. 「縁―お寺の掲示板―」今月の言葉は「あげて生きてますか ○○○○て生きてますか」です。（4面）
2. 「今月の法話 如是我聞」今月は、靏見美○○さんが執筆しています。（1面）
3. 「縁―お寺の掲示板―」今月は、長浜教区通信員○○○○ん俊さんが執筆しています。（4面）
4. 「ひかりを伝えたひと」龍樹菩薩は○○喜地という境地に到達した人物です。（5面）
5. 『真宗○○○○ 第二版』は文字が大きくなり、より見やすく読みやすい体裁です。（6面）
7. 「今月の法話 如○○○ん」今月のタイトルは「生きる」です。（1面）
8. 学習テキスト『御○○○うを生きる』を発行しました。（7面）

ヨコのカギ
1. 「人間という○○○○相」今月は、梅津円さんのインタビューです。（2・3面）
6. 「人間といういのちの相」今月のタイトルは「吃音は「○○人間」じゃない」です。（2・3面）
9. 「現在を生きる」今月のタイトルは「つ○○りをつくる場所」です。（4面）
10. 「ご案内」○○○○う仕団については『同朋新聞』3月号7面をご確認ください。（8面）



2月号のクロスワードパズルの答えは、こ（A）う（B）ば（D）い

答え　A　B　C　D

※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

読者のこえ
1月号を読んで

◆「人間といういのちの相」私の住んでいるお隣の市にすごい人がいるんだなと思いました。私も将来誰かの役に立てるような仕事に就きたいです。（10代女性）
◆「特集」毎年元旦に参拝していた「修正会」の意味を初めて理解できました。来年からは胸を張ってお参りし、大きな声で唱和したいと思います。（70代男性）

チャレンジ！

正解者の中から抽選で5名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1,000円分」をプレゼントします！

郵便はがきまたはメールにて、❶「クロスワードパズルの答え」❷「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と❸『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、右記までご応募ください。今月号の締め切りは**5月10日（金）**（当日消印有効）です。

宛先　〒600-8505
京都市下京区烏丸通七条上る
東本願寺出版
「クロスワードパズル係」まで

メールでも応募できます！
はがきと同様に必ず上記❶❷❸を記入し、「件名」に「同朋新聞4月号クロスワード応募」と入力のうえ higashihonganji shuppan@gmail.com へお送りください。

応募はコチラ

〈ご注意〉◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。◆個人情報はプレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。◆感想は「読者のお便り」に掲載する場合があります。◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。

編集室だより

◆福井県あわら市の吉崎別院で勤まる「御忌法要」をお迎えするため、真宗本廟から蓮如上人の御影を御輿に乗せ、吉崎別院まで運ぶ「御影道中」が行われます。（1面）京都から吉崎へ向かう御下向は、約240kmの長い道のりを4月17日から4月23日までの7日間かけて歩きます。江戸時代からはじまり、今年で351回目となる大切な御仏事です。私も数年前に一部参加して一緒に歩く機会をいただきました。私が参加したのは吉崎別院の一つ前のお立寄り所から吉崎別院までのわずかな区間でしたが、歩いている時に、立ち止まり念仏される姿や休憩所であたたかく迎え入れていただいた姿が今も思い浮かびます。最後の峠を越え、あわらの町が見えた時に御影をお迎えするたくさんの提灯の灯が見え、歴史と信仰の篤さを感じ、心が震えました。4月17日に真宗本廟で行われる「御下向式」、そして4月23日から5月2日に勤まる「御忌法要」とさまざまな場所で御仏事にあうことができます。私も真宗本廟で蓮如上人をしっかりお見送りしようと思います。（玉井）

小堀京仏具工房
−京都市山科区の仏壇仏具製作工房−

安永4年（1775年）創業
神仏につなぐものづくり
京仏具 小堀

本　　店　〒600-8159　京都市下京区烏丸通正面上る　☎（075）341-4121㈹　FAX（075）341-4128
営業時間/9：00～17：00　年中無休
東　京　店　☎（03）3843-6961㈹　FAX（03）3845-5343　営業時間/9：30～17：30　定休日/木曜・日曜・祝日
福　岡　店　☎（092）715-1510㈹　FAX（092）713-4720　営業時間/9：30～17：30　定休日/日曜・祝日
札幌店（ショールーム）　☎（011）222-0155㈹　FAX（011）222-0177　営業時間/9：30～17：30　定休日/日曜・祝日
小堀京仏具工房（京都工場）